

第 1 学年国語科学習指導案

単元名 文章の構成や論理の展開をとらえよう

教材名 「未来をひらく微生物」(光村図書 中学校 1 年生)

1 単元について

佐賀県の生徒の実態として、平成21年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「読むこと」、「書くこと」、「言語事項」の2領域1事項に課題が見られた。特に「読むこと」では、「筆者の表現の工夫や考えをとらえること」「段落の内容を的確にとらえること」「表現の特徴や工夫についてや作品の内容について、自分の考えをもつこと」に課題がある。つまり、目的や意図に応じて、表現の仕方に注意しながら文章の内容を的確に押さえて読んだり、自分の考えを明確にして読んだりすることに課題があるといえる。

生徒は、中学校に入学してからこれまでに、説明的文章として、「ちょっと立ち止まって」(光村図書)、「クジラたちの声」(同)を読んでいる。「ちょっと立ち止まって」では、「序論・本論・結論」の構成を読みとり、この構成を利用して1分間スピーチの原稿を書くという学習活動を行っている。この活動を通して、「段落に注意して読み、内容を理解し、構成をとらえる」「筆者のものの見方や考え方を確かめながら読み、自分のものの見方、考え方を広げる」などの学習を行っている。また、「クジラたちの声」では、問題提起と答えの段落に着目し、文章の構成をとらえたり、筆者のものの見方を理解し、自然の不思議について興味をもったりすることで既習事項の理解を深めている。

本教材は、段落の始めに、「まず」「そこで」「だが」などの接続語や、「このように」「これらの」といった指示語を用いることで、それぞれの段落の関係と役割がつかみやすくなっている。また、話題提示の際も、「一つは…、もう一つは…」と述べたり、「第一の方法は…」「第二の方法は…」と述べたりするなど、話の流れを示すような言葉が用いられ、生徒にとって読み進めやすい文章になっている。表現の工夫においても、「病気の人に、栄養のある食事を取らせ…と似ている。」のように、微生物による環境回復のしくみを人間の健康回復のしくみに例えたり、具体例、図や写真の引用をしたりするなど、内容を具体的に説明するための工夫をしている。これらのことから、本教材は、段落の役割に着目して文章を読み、筆者の表現の工夫をとらえ、それらについて自分の考えをもつのに適した教材であると考えられる。

そこで、本単元では「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」という言語活動を通して、文章を要約したり図式化することによって読みを深めることと、文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことを身に付けさせたい。また、本単元において、「アンケート」や「学習計画・自己評価表」を活用することによって、主体的な学習態度の育成も図りたい。

2 単元の指導目標

- (1) 微生物と環境に関する筆者の見方や考え方を理解することができるようにする。
- (2) 文章の構成や、文章と図表との関連などを考え、それらの効果について自分の考えをもつことができるようにする。
- (3) 目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読む言語活動を通じた指導 〔C読むこと(2)イ〕		
1 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分とのかかわりを考えながら文章を読もうとしている。	1 文章の中心的な部分と付加的な部分、意見と事実などを読み分けている。〔C読むこと(1)イ〕 2 目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすることができる。〔C読むこと(1)イ〕 3 段落の役割に着目し、図、例示、説明などの働きについて読み分けて、文章の構成や展開をとらえている。〔C読むこと(1)イ〕 4 文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもっている。〔C読むこと(1)エ〕	1 指示語や接続語及びこれらと同じような働きをもつ語句に注意して読んでいる。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)〕

4 指導と評価の計画（全6時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法				
一	1	1 単元の学習目標を知り、この後の学習の見通しをもつ。	○学習の流れを示した学習計画・自己評価表を用いて、単元の学習目標を確認し、単元の学習の見通しをもたせる。	アー1 【学習計画・自己評価表の記述】 ウー1 【生徒の観察・全文ワークシートの記述】 イー4 【全文ワークシートの記述】				
		2 「未来をひらく微生物」を読む。	○事前に取った読む力に関するアンケート結果を使って、身に付けたい力を考えさせる。					
		3 文章の構成と論理の展開をとらえる。	○「未来をひらく微生物」という題名に着目させ、その意味を推測させることで、読む意欲をもたせるようにする。 ○微生物というキーワードと接続詞、微生物の例が述べられているところに線を引きながら読むよう指示する。					
	2	4 本文の内容をおおまかにとらえる。	○説明的な文章の既習の知識を想起させ、序論・本論・結論に分けるように指示する。		イー1 【生徒の観察・読解ワークシートの記述】			
		5 序論を読み取る。	○キーワードに着目して、書かれている事実を整理させる。					
		6 結論を読み取る。	○形式段落の中から筆者の意見が書かれている大切な一文に線を引くよう指示する。それらをつなげることで、筆者の意見を要約させる。					
		7 筆者の意見を要約し、それに対する自分の考えをまとめる。	○微生物の働きについての筆者の考えに対して、どう思うのかを書かせる。			イー2 【生徒の観察・読解ワークシートの記述】		
		3	8 本論を読み取る。				○形式段落⑨⑩を読み取り、文章を図にまとめるよう指示する。	イー3 【生徒の観察・読解ワークシートの記述】
			9 筆者の文章の構成や展開、表現の工夫から筆者の伝えたかったことを考える。				○形式段落⑬～⑯を読み取り、文章を表にまとめるよう指示する。	
			10 「未来をひらく微生物」について、図や文章で書く。（下書き）				○全文ワークシートを使って筆者の表現の工夫について確認させ、自分の考えをもたせる。	
4	11 微生物や微生物の働きについての自分の考えを書く。	○題材と表現方法について選択させる。（みその作り方・しょうゆの作り方）（図を文章にする・文章を図にする）	イー3 【生徒の観察・ワークシート①②③④の記述】					
	12 「未来をひらく微生物」について、図や文章で書く。（清書）	○下書きをさせる。						
	13 学習に関する自己評価をする。	○文章を図にすることで分かること、図を文章にすることで分かることを確認させる。						
三	6	14 書いたものを基に意見交流をする。	○交流を通して、他者との相違点に気付かせ、自分の考えを深める参考にするよう促す。	イー4 【生徒の観察・ワークシート①②③④の記述】				
		15 交流で出た意見を参考に、微生物や微生物の働きについての自分の考えを深める。	○学習計画表などを基に単元の学習を振り返らせて、身に付いた力や気付きなどを学習計画表や事後のアンケートに記入させる。					
	16 学習全体を振り返る。		アー1 【学習計画・自己評価表の記述】					

5-1 1/6時の指導計画

- (1) 指導目標
 ・単元の学習の見通しをもたせる。
 ・文章の構成をとらえる。
- (2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法
導 入	1 単元の学習目標を知り、学習の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表 生徒用引き①(「学習計画を立てよう」) ②(「学習の振り返りをしよう」)	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元の目標は、表現の特徴に気付き、筆者の見方や考え方を理解すること、学んだことを生かして事実を正確に伝えることであることを確認する。 ○事前にとった「読む力」に関するアンケートの結果をグラフ化して提示し、各自が身に付けたい力について考えるよう促す。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。 	アー1 本単元の学習内容を知り、意欲的に取り組もうとしている。 【生徒の観察、学習計画表の記述】 「以前配布した「生徒用引き①・②」を参考にできるように助言する。」
文章の構成をとらえよう。				
展 開	2 「未来をひらく微生物」を読む。 (1)各自で黙読する。 (2)指名された生徒が順に音読する。	全文ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ○読む前に題名に着目させ、「微生物が未来をひらく」とはどのようなことかを読み一つの視点として押さえさせる。 ○黙読する際に、新出漢字や読めない漢字、注意する語句については線を引いて一斉読みの際に確認できるように指示する。 ○微生物というキーワードと接続詞、例が述べられているところに線を引きながら読むよう指示する。 	ウー1 指示語や接続語及びこれらと同じような働きをもつ語句に注意して読んでいる。 【生徒の観察、全文ワークシートの記述】
	3 文章の構成をとらえる。	生徒用引き⑤(構成)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちょっと立ち止まって」や「クジラたちの声」で学習した「序論・本論・結論」という文章構成を押さえた上で、全体を大きく3つのまとまりに分けるように指示する。 ○活動が進まない生徒には、以前配布した「学習の手引き(構成)」を参考にさせる。 	イー4 教材文の構成をとらえることができている。 【ワークシートの記述】 「序論・本論・結論とはどういうものかを想起させる。」
ま と め	4 本時の振り返りをし、自己評価をする。 5 次時の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○次時は、序論と結論部分を読み取ることを知らせる。 	

5-2 2/6時の指導計画

- (1) 指導目標
 ・筆者の意見の要約をさせる。
 (2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習目標を知り、学習の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表	○序論・本論・結論に分けたことを思い出させる。 ○本単元の目標について確認させる。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。	
本文を短くまとめよう。(要約)				
展 開	3 本文の内容をおおまかにとらえる。 (1) キーワードを確認し、読解ワークシート中のポイント1の欄に記入する。 (2) キーワードすべてに印を付ける。 4 序論を読む。 (1) 序論の役割を知る。 (2) 本文中の定義、問題提起にあたる文に線を引く。 5 結論を読む。 (1) 結論の役割を知る。 (2) 筆者の意見が書かれている文に線を引く。 ・読み手の行動を喚起する文末表現「～しよう」「～ねばならない」「～必要がある」「～してほしい」「～べきだ」等。 6 要約する。	読解ワークシート 生徒用手引き⑤ (構成) 読解ワークシート 生徒用手引き③ (要約) 読解ワークシート	○繰り返し出てくる語句を探することで「微生物」というキーワードを意識させ、全文を通して微生物について語られていることに気付かせる。 ○序論には「語句の定義」と「問題提起」が書かれていることを確認する。 ○定義の文が「微生物とは…である」、問題提起の文が「微生物のこうした働きには…」であることに気付くよう促す。 ○結論には「内容のまとめ」「筆者の意見」が書かれていることを確認する。 ○意見を述べるための文末表現を知らせる。 ○接続語や文末表現に注意して筆者の意見の文「したがって…必要がある」に気付かせる。 ○説明文の構成では、筆者の意見や内容のまとめは序論か結論に示されていることを確認する。 ○要約には序論と結論を生かす方法があることを知らせる。	イー1 「微生物」に印を付けている。 【生徒の観察、読解ワークシートの記述】 繰り返し出てくる言葉に注目させる イー2 「微生物」の定義と筆者の意見を入れて要約している。 【生徒の観察、読解ワークシートの記述】 生徒用手引き③で要約の仕方を例示し、読解ワークシートに線を引いている部分をつないでまとめさせる。
ま と め	7 本時の振り返りをし、自己評価をする。 8 次時の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表	○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○自己課題が達成できたかどうか考えさせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○次時は、本論を読むことを告げる。	

5-3 3/6時の指導計画

(1) 指導目標

- ・文章と図表との関連とその効果について考えさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 前時の学習内容を想起する。	学習計画・自己評価表	○序論・結論を生かして要旨をまとめたことを思い出させる。 ○本単元の目標について確認させる。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて、見通しをもたせる。	
	2 本時の学習目標を知り、学習の見通しをもつ。			
文章と図表との関連と、その効果について考えよう。				
展 開	3 本論を読む。 (1)段落の役割を確認する。 (2) 9, 10段落の内容を図に示す。 (3)13～16段落の例えの表現を表にまとめる。	読解ワークシート	○5～16段落の内容を読むことを知らせる。 ○接続語に着目して、本文の構成を整理させる。 ○自分が書いた図と教科書の図とを見比べさせる。図があることで、文章に書かれていることがわかりやすくなっていることに気付かせる。 ○ワークシートに記入させる。 ○例えの表現により、よりイメージがつかみやすくなることに気付かせる。	イー3 9, 10段落の内容を図に示すことができる。 矢印を用いて書くように指示する。 13～16段落の比喻表現を表にまとめることができる。 【生徒の観察、読解ワークシートの記述内容】 もともと表に提示してある言葉と同じものを本文中から探すようにさせる。
	4 筆者の意見に対する自分の意見を書く。 (1)前時に要約した筆者の意見を再確認する。 (2)前時に学んだ文末表現を用いて意見を書く。	読解ワークシート	○何かに対して意見を述べるときには、賛成か反対かの立場を取ることを知らせる。 ○文末を意識して自分の考えをまとめさせる。 ○活動が進まない生徒には、書き出しの例を示す。 書き出しの例 ・賛成の場合 「筆者の言うように…」 ・反対の場合 「筆者とは違い、私は…」	
	5 文章の構成や文章と図表との関連などを考え、それらの効果について自分の考えをもつ。	読解ワークシート	○読み手を意識した筆者の表現の工夫・表現の特徴について、自分の考えを書かせる。	
ま と め	6 本時の振り返りをし、自己評価をする。	学習計画・自己評価表	○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○自己課題が達成できたかどうか考えさせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○次時は、表現の特徴をまとめて、級友と意見の交換をすることを告げる。	
	7 次時の見通しをもつ。			

5-4 4/6時の指導計画

(1) 指導目標

・文章と図表などとの関連を考え、それを生かして微生物についての自分の考えをまとめさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 本時の目標を確認する。 2 筆者の表現の工夫・表現の特徴について整理する。	学習計画・自己評価表 全文ワークシート	○本単元の目標について確認させる。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。 ○各自の気付きや考えをグループ、次に学級全体の順で交流させ、全文ワークシートに書き加えや整理をさせる。	
文章と図表などとの関連を考えながら、図式化・文章化しよう。				
展 開	3 「未来をひらく微生物」について図や文章で書く。 (1) 課題を選択する。 (2) 下書きをする。 4 微生物や微生物の働きについての自分の意見を書く。	ワークシート ① ② ③ ④	○ワークシート①②③④から題材・表現様式を選択させる。 〈文章を図式化する〉 ・ワークシート① 「みその作り方」 ・ワークシート② 「しょうゆの作り方」 〈図式化されたものを文章にする〉 ・ワークシート③ 「みその作り方」 ・ワークシート④ 「しょうゆの作り方」 ○文章と図表などとの関連を考えながら下書きをするように指示をする。 ○微生物の働きについて自分の意見をもつことができるよう、「未来をひらく微生物」での学習を想起させる。 ○「未来をひらく微生物」の学習でまとめた、筆者の意見に対する自分の考えを参考にするよう助言する。	イ-3 目的に応じて必要な情報を読み取り、自分の考えをもっている。 【生徒の観察、ワークシートの記述】 「未来をひらく微生物」の学習でまとめた、筆者の意見に対する自分の考えを参考にさせる。
ま と め	5 本時の振り返りをし、自己評価をする。 6 次時の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表	○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○自己課題が達成できたかどうか考えさせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○次時は清書をすることを告げる。	

5-5 5/6時の指導計画

(1) 指導目標

・微生物について説明した図や文章について、その内容と効果を考えさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 本時の目標を確認する。	学習計画・自己評価表	○本単元の目標について確認させる。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。	
文章と図表などとの関連を考えながら、図式化・文章化しよう。				
展 開	2 「未来をひらく微生物」についての図や文章を清書する。 3 微生物や微生物の働きについての自分の意見を見直して清書する。 4 自己評価をする。 (1)自分が図式化したり、文章化したりしたのを見直して、評価する。 【評価の観点】 ①分かりやすい構成か ②適切な図や表か ③適切な接続語や指示語を用いているか (2)微生物や微生物の働きについての自分の考えを見直して、評価する。 (3)自分が図式化したり、文章化したりしたものと自分の考えについて、加筆修正をする。 (4)(1), (2)の自己評価を基に、自分が書いた図や文章を使った説明をA・B・Cで評価する。	ワークシート ① ② ③ ④	○文章と図表などとの関連を考えながら清書をする。 ○「未来をひらく微生物」の学習も思い出しながら、微生物の働きについて自分の考えをもたせる。 ○ワークシートに示された項目を評価の観点とするよう指示する。 ○感想ではなく、根拠を明らかにして自分の意見として書いているかどうかを評価するよう助言する。 ○自己評価をすることで気付いたことを基に加筆修正をさせる。	イ-3 目的に応じて必要な情報を読みとり、自分の考えをもっている。 【生徒の観察、ワークシートの記述】 「未来をひらく微生物」の学習でまとめた、筆者の意見に対する自分の考えを参考にさせる。
ま と め	5 本時の振り返りをし、自己評価をする。 6 次時の見通しをもつ。	学習計画・自己評価表	○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○自己課題が達成できたかどうか考えさせ、学習計画・自己評価表に記入させる。 ○次時は相互評価をすることを告げる。	

5-6 6/6時の指導計画

(1) 指導目標

- ・文章と図表との関連について意見の交流をさせる。
- ・単元の学習全体を振り返らせ、身に付いた力の自覚をさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 本時の目標を確認する。	学習計画・自己評価表	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元の目標について確認させる。 ○学習計画・自己評価表を用いて、本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。 	
意見の交流をしよう。				
展 開	2 書いたものを基に意見交流を行う。 (1) 図式化したり、文章化したりしたものを、グループで読み合う。 (2) お互いが書いたものを見て、基になった情報が正確に読み取れているかが分かる表現を選んで、その表現の特徴を考える。 (3) よい表現であると評価された表現の特徴を学級全体で共有する。 (4) 図式化したり、文章化したりして読み取った内容を基に書いた、微生物や微生物の働きについての自分の考えを読み合い、自分の意見の改善点を考える。 3 「未来をひらく微生物」の本文を振り返り、筆者の表現の工夫の効果について考える。	意見交流シート付せん	<ul style="list-style-type: none"> ○選択した題材・表現様式ごとに4・5人のグループを作らせて書いたものを読み合わせる。 ○図式化したものであれば基になった文章の内容を、文章化したものであれば基になった図の内容を、正確に読み取れていることが分かる表現をしているものを選んで、その表現の特徴を考えさせる。 ○他の人の意見を読んで参考になったところを基に、自分の意見の改善点をまとめる。 ○意見交流をすることで気付いたことや広がったり、深まったりした考えを書いておくよう指示する。 ○本文の読み取りがより深まるように、論理の展開を支える例示や図表などの効果について考えさせる。 	イー4 文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持っている。 【生徒の観察、ワークシートの記述】 友達の意見を参考にできるように促す。
ま と め	4 本時の振り返りをし、自己評価をする。 5 事後アンケートをする。 6 本単元の自己評価をする。	学習計画・自己評価表 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を振り返らせ、自己評価表に記入させる。 ○自己課題が達成できたかどうか考えさせ、自己評価表に記入させる。 ○事前と同じ項目でアンケートを行い、身に付いた力の自覚をさせる。 ○本単元全体を振り返って自己評価することを知らせる。 	アー1 本単元の学習内容を振り返り、意欲的に取り組もうとしている。 【生徒の観察、学習計画・自己評価表の記述】